

# 研修会内容(平成24年度)

## ○会員研修プログラム

開催自治体:群馬県太田市 学習文化センター

ー7月26日 1日目(会員研修)ー

テーマ【東日本大震災時の受援と支援】

1. 受援側 「仙台市における住家の被害認定調査応援体制の実態」

宮城県仙台市財政局資産税課長 中村 良幸 氏

「名取市の応援職員受け入れ体制の実態」

宮城県名取市防災安全課長兼震災記録室長 大久 初見 氏

2. 支援側 「東日本大震災被災自治体への支援の実態」

東京都杉並区危機管理室防災課長 高山 靖 氏

兵庫県神戸市危機管理室総務担当課長 大崎 克英 氏

群馬県太田市企画部参事 人事課長 久保田 誠一郎 氏

3. 講演者と参加者による検討会・質疑応答

進行 富士常葉大学社会環境学部・環境防災学部 教授 重川 希志依

ー7月27日 2日目(公開プログラム)ー

4. 基調講演 「地域で行う“命を守る防災”対策」

群馬大学大学院工学研究科准教授 金井 昌信 氏

5. パネルディスカッション

テーマ 「太田市で生きのびるには」

パネリスト 岩手県陸前高田市なつかしい未来創造(株) 取締役 長谷川 順一 氏

岩手県釜石観光ボランティアガイド会顧問 柏崎 龍太郎 氏

福島県双葉郡川内村住民 横尾 修正 氏

群馬県太田市九合地区自主防災協議会会長 志村 仁 氏

コーディネーター 富士常葉大学社会環境学部・環境防災学部 教授 田中 聡

参加者数

・1日目:34団体55名  
(内、非会員自治体5団体6名)

・2日目:29団体46名  
(内、非会員自治体3団体4名)  
太田市民 154名



開会の挨拶をする丸山会長



歓迎の挨拶をする清水 太田市長

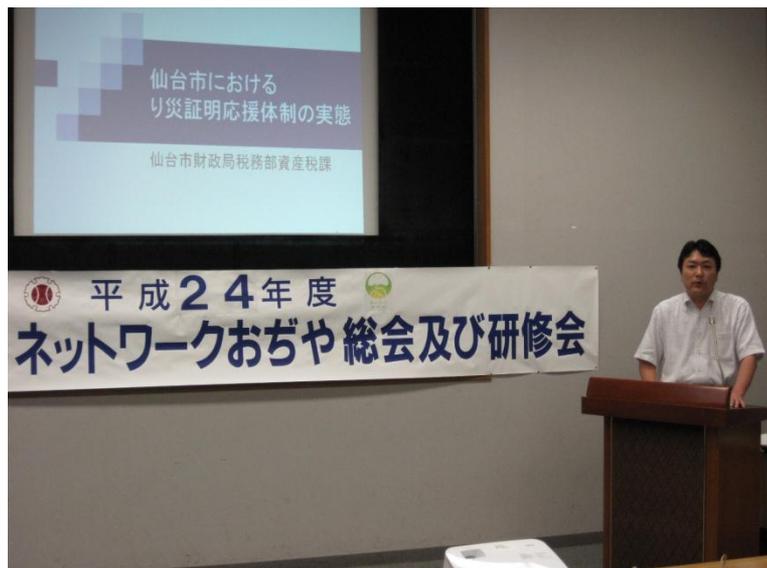
# 会員研修

## テーマ「【東日本大震災時の受援と支援】」

### 1. 受援側

- 「仙台市における住家の被害認定調査応援体制の実態」
- 宮城県仙台市財政局資産税課長 中村 良幸 氏

東日本大震災で津波と地震により複合的な災害を受け、25万棟もの家屋が被害を受けた仙台市では、被害認定調査業務や罹災証明発行業務に全国各地から大勢の職員の応援を受け業務を進めた。仙台市からは被害認定調査業務及び罹災証明書発行業務の応援体制の実態と罹災証明書発行体制について説明いただいた。



# 1. 受援側

- 「名取市の応援職員受け入れ体制の実態」
- 宮城県名取市防災安全課長兼震災記録室長 大久 初見 氏

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で、津波により沿岸部が甚大な被害を受け、約900名もの方が犠牲となった宮城県名取市の震災後の対応と震災対応全般にわたる受援体制の実態について説明いただいた。



## 2. 支援側

### ■「東日本大震災被災自治体への支援の実態」

- 東京都杉並区危機管理室防災課長 高山 靖 氏
- 兵庫県神戸市危機管理室総務担当課長 大崎 克英 氏
- 群馬県太田市企画部参事 人事課長 久保田 誠一郎 氏

震災後、支援する側の自治体が災害時相互援助協定や姉妹都市等の繋がりのある自治体へ職員を派遣した際の支援の経過と実態、支援を受けた側から感謝される一方で多くの課題が見えたことから、その解決方法等について説明いただいた。



〔杉並区 高山氏〕



〔神戸市 大崎氏〕



〔太田市 久保田氏〕

### 3. 講演者と参加者による検討会・質疑応答

■進行 富士常葉大学社会環境学部・環境防災学部 教授 重川 希志依

受援側、支援側それぞれの話をもとに、参加者と講演者による災害時の自治体の業務と受援側・支援側の課題について議論を深める。

参加者からは活発な質問・意見が出され大変有意義であった。



〔質問する参加者〕



〔質問に答える講師〕



〔進行する重川教授〕

# 公開プログラム

## 4. 基調講演

■ 「地域で行う“命を守る防災”対策」

■ 講師：群馬大学大学院工学研究科准教授 金井 昌信 氏

地域住民と地元自治体が手をとって具体的な災害対策、災害に備える取り組みをしている事例を紹介いただくとともに、多くの犠牲者を出してしまった東日本大震災の教訓を受け、今後、災害で多くの犠牲者を出さないために何が必要なのか、地域のみんなで考え取り組んで行くための方策について講演をいただいた。



# 5. パネルディスカッション

テーマ 「太田市で生きのびるには」

パネリスト 岩手県陸前高田市なつかしい未来創造(株) 取締役 長谷川 順一 氏  
岩手県釜石観光ボランティアガイド会顧問 柏崎 龍太郎 氏  
福島県双葉郡川内村住民 横尾 修正 氏  
群馬県太田市九合地区自主防災協議会会長 志村 仁 氏

コーディネーター 富士常葉大学社会環境学部・環境防災学部 教授 田中 聡

東日本大震災の被災地で生きのびた被災者をパネリストに招き、太田市で大規模災害が発生した際にいかに生きのびるか、東日本大震災での経験談と太田市の地域防災対策の取組み状況の話をしていただき、傍聴者より大規模災害から生きのびるためのヒントを得てもらうことを目的として開催した。



〔パネルディスカッションの様子〕



〔東日本大震災の経験を話すパネリスト〕



〔熱心に聞く大勢の参加者〕